

野田物語

棋士・渡辺東一 ⑪
全国各地で
将棋を普及



大阪での大山(左から二人目)対升田(右)の「名人戦」に立会う渡辺東一(左)・昭和32年5月
写真提供=渡辺桂三氏

「陣屋事件」は、社会的にも大きな反響を巻き起こし、日本将棋連盟は、事態を重く見て、升田の一年間の出場停止と、渡辺東一会長以下、理事の総辞職を発表しました。

しかし、その処分に対して世論では賛否両論もあり、裁定を委ねられた対局者の木村義雄は、「相互が遺憾の意を表し、升田の即日復帰、理事の辞表は受理しない」とし、渡辺もそのまま会長を続投しますが、昭和28(1953)年5月、会長の職を坂口允彦八段に譲り、名誉会長となりました。

名譽会長となっても渡辺は、温厚で実直な性格から、対局の立会人として、また各地の将棋大会にも招かれることが多く、全国各地で将棋の普及に努めていきました。

義父・東一と長年過ごした渡辺典子さんは「義母の入院時も毎日病院に通い、とても献身的でした。また、買ひ物が好きで、孫たちにもおみやげを買ってきてくれました」と、また、関根門下生最後の弟子でもある五十嵐豊一九段は「やさしい先生だったが、いざという時に頼りになった気骨のある方でした。また貫禄があり義理堅く、私の兄弟子でしたが、関根名人が亡き後は、渡辺さんを師匠と思いつてきました」と語ります。

昭和50(1975)年11月17日、蔵前の国技館で開催された第1回「将棋の日」には、将棋界の発展に貢献されたことから名誉九段を、同55年には勲四等瑞宝章を授与されました。

下平幸男八段、北村昌男

「渡辺さん、思えば長いおつき合いでした。同門の間柄として数えれば七十年に近いと言っても過言では無いと思います。戦前、戦中、戦後を通じて私の良き相談相手として連盟運営の中にあっても手をたづさえて来ました。(中略)：苦しい戦中戦後の棋界それは今考えると想像も出来ないような状態でした。しかし、その苦しさを乗り越えて今の棋界が生まれたのです。その中心になってのあなたの努力は容易なものではなかったと思います。(中略)：棋界に生きた八十年。その夢と共に安らかに御眠り下さい。弔辞は、木村義雄十四世名人でした。 ※文中敬称略

九段、二上達也九段、佐藤大五郎九段、勝浦修九段などを育て、晩年まで将棋普及に尽力されましたが、昭和60(1985)年5月27日、79歳で亡くなりました。



東一が好んで書いた言葉

12月の休日当番医

休日当番医での診療時間
外科・産婦人科 = 9時～22時(ただし16時～19時は除く)
内科 = 9時～16時(19時～22時は急病センターで行います)

日(曜日)	外科	内科	産婦人科
3日(日)	キッコーマン総合病院(☎7123-5911)	たんぼぼこどもクリニック(☎7126-8118)	遠藤産婦人科医院(☎7124-7860)
10日(日)	梅郷整形外科クリニック(☎7125-2011)	スズキ皮膚科内科クリニック(☎7126-2285)	杉崎クリニック(☎7125-1070)
17日(日)	門倉病院(☎7124-5311)	うちだ内科クリニック(☎7127-8181)	川間太田産婦人科医院(☎7127-1135)
23日(土)	山崎外科内科(☎7122-2359)	あら山こどもクリニック(☎7129-7149)	キッコーマン総合病院(☎7123-5911)
24日(日)	西村クリニック(☎7123-0050)	むらた内科循環器科クリニック(☎7127-8800)	遠藤産婦人科医院(☎7124-7860)
29日(金)	しばやま整形外科(☎7120-5355)	岡医院(☎7124-1218)	荒井医院(☎7122-5723)
30日(土)	小張総合病院(☎7124-6666)	山縣医院(☎7125-3741)	小張総合病院(☎7124-6666)
31日(日)	しばやま整形外科(☎7120-5355)	丹保医院(☎7129-3557)	遠藤産婦人科医院(☎7124-7860)

※休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド(☎7124-7272:コード6101)、または野田市ホームページ(<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html>)で確認をしてください。

急病センター ☎7125-1188

▼内科(小児科) = 19時～22時(毎日)
▼歯科診療 = 9時～正午(休日)

▼「今日から「師走」」。毎年のことながら、一年つて経つのは早いと思います。師走の語源を、師匠の僧がお経をあげるため東西を馳せる「師馳(しは)す」とする説もありますが、師匠でなくても、何だか慌しく東奔西走する一年最後の月です▼「師匠」が関根名人だった渡辺東一名譽九段は、依頼に対しよく「難局はきびしき恩師なり」と揮毫されました。戦後の混乱する将棋界を、私財を投げ打つ覚悟で建て直すため、中心となって東奔西走した渡辺名誉九段ならではの、説得力のある言葉です▼今年が生誕百年でした(き)

編集後記

市の木

けやき

市の花

つつじ

市の鳥

ひばり